さくら園～尾入野湿性植物園
散策マップ

オニグルミ（クルミ科）
大きい奇数羽状複葉をもつ高木で、秋には「クルミ」が実ります。

ヤマナラシ（ヤナギ科）
葉柄が扁平になっているので少しの風でも葉が揺れる、ポプラの仲間です。

ツルウメモドキ（ニシキギ科）
秋にウメモドキ（梅擬）のような実をつけるツル性の木です。

クロウメモドキ（クロウメモドキ科）
秋にウメモドキ（梅擬）の実を黒くしたような実をつける低木です。

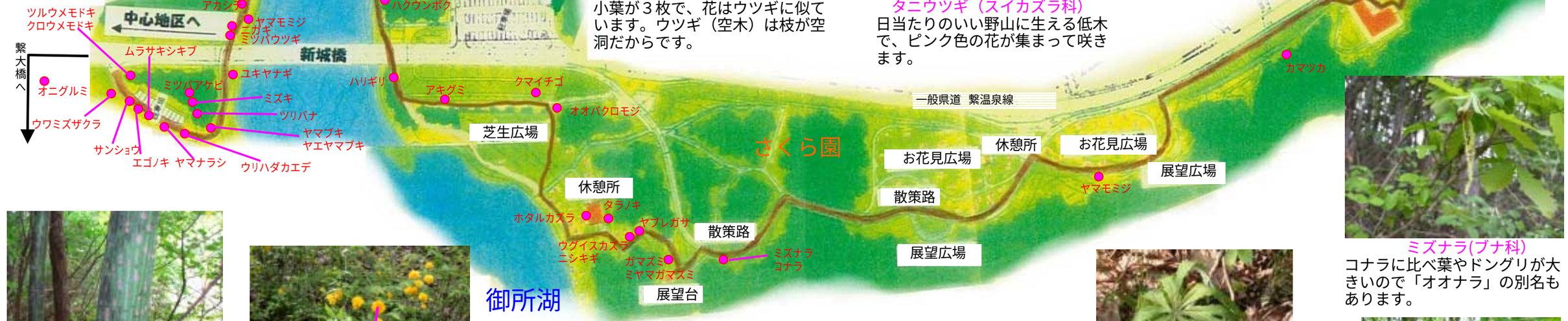
オオバクロモジ（クスノキ科）
枝に香りがあり、昔から瓜揚枝などに使っている低木で、クスノキの仲間です。

ミヤマガマズミ（スイカズラ科）
ガマズミに似ていますが、葉にはほとんど毛が無く、光沢があります。

ガマズミ（スイカズラ科）
小さな白い花が集まって咲き、秋には赤い実がつく低木です。

ミツバウツギ（ミツバウツギ科）
小葉が３枚で、花はウツギに似ています。ウツギ（空木）は枝が空洞だからです。

タニウツギ（スイカズラ科）
日当たりのいい野山に生える低木で、ピンク色の花が集まって咲きます。



ウリハダカエデ（カエデ科）
幹が瓜の肌に似ている所から名前が付いた、カエデの仲間です。

ヤマブキ（バラ科）
鮮やかな黄色を「山吹色」というように、昔から親しまれている低木です。

ヤエヤマブキ（バラ科）
「七重八重花は咲けども山吹の・・・」はヤマブキの園芸品種であるこの木を歌ったものです。

ミツバアケビ（アケビ科）
小葉が３枚のアケビで、秋には美味しい実をつけるツル性の木です。

アケビ（アケビ科）
小葉が５枚の掌状複葉で、秋にはおいしい実をつけるツル性の木です。

ヤブレガサ（キク科）
名前の通り、破れた傘のような葉の形が印象的な多年草で、キクの仲間です。

ミズナラ(ブナ科)
コナラに比べ葉やドングリが大きいので「オオナラ」の別名もあります。

コナラ（ブナ科）
雑木林の代表種で、薪炭や椎茸の原木として使われてきた、ドングリのなる木です。

H15. 5. 27作成　岩手県　盛岡地方振興局土木部